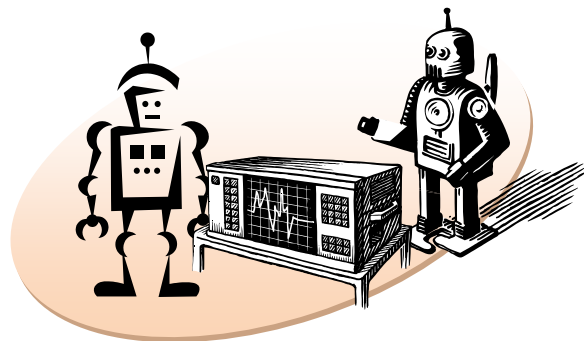


平成22年度

山口県産業技術センター技術発表会

山口県産業技術センターで実施した研究開発・技術支援の成果を、県内企業に分かりやすく紹介し、研究成果の活用や技術支援の利用を促進する目的で、平成 22 年度の技術発表会を開催します。

日時	平成 23 年 3 月 3 日(木) 13:30~17:00 (受付 13:00~)
場所	山口県産業技術センター 多目的ホール (宇部市あすとびあ 4 丁目 1 番 1 号)
主催	地方独立行政法人山口県産業技術センター



(開催プログラム)

順	発表内容、発表者等	時間
1	主催者あいさつ (地独)山口県産業技術センター理事長 山田隆裕	13:30~13:35
2	技術発表(4 テーマ)	13:40~15:00
	(休 憩)	15:00~15:10
3	技術発表(3 テーマ)	15:10~16:10
4	平成 22 年度新規導入機器の見学会	16:10~17:00

(技術発表テーマ)

番号	テーマ名	概要	発表者
1	液体ミストの超音波霧化方法の開発	液体を霧化したミストは加湿器等で多く見られますが、ミスト粒径を小さくしたり、粘度の高い液体を霧化することは技術的に難しくなります。本報告では、超音波技術を用いた新しい霧化方法と液体ミストの応用例を提案します。	加工技術 G 磯部佳成
2	三次元 CAE の活用技術向上のための事例解析	三次元 CAE (コンピューターを援用した解析技術) は、製品設計の効率化や品質向上に有効です。本報告では、九州・山口の公設試験研究機関で CAE の活用技術向上のため取り組んだ事例解析について紹介します。	加工技術 G 永田正道
3	DLC 成膜技術の開発	DLC (ダイヤモンドライクカーボン) 膜は、化学的に安定で優れた機械的特性を有し、様々な用途への利用が期待されています。本報告では、DLC 膜の成膜事例と、DLC 膜で問題となっている母材腐食の防止技術の開発について紹介します。	材料技術 G 福田 匠
4	表面分析に関する技術支援事例	産業技術センターには、表面分析に関する様々な技術相談が寄せられています。本報告では、走査電子顕微鏡による破断面観察や表面分析機器による成分分析等の相談事例について、その内容や効果等について紹介します。	技術相談室 稲田和典
5	電子機器の EMC 規格と LED 応用製品の評価事例	電子機器の高速化や高密度実装化により電磁波障害 (EMC) 問題が重要視されています。本報告では、EMC 関連の規格動向と、最近身近になった LED 応用製品の EMC 評価事例を紹介します。	電子応用 G 藤本正克
6	家庭用ストレス評価装置の開発	日常生活におけるメンタルストレスを手軽に評価できる装置の実現が期待されています。本報告では、心拍情報からストレスを評価する方法と、その手法を利用して開発している家庭用ストレス評価装置を紹介します。	設計制御 G 森 信彰
7	四足歩行ロボットの開発	産業技術センターが保有するメカトロニクス、組込みソフトウェア、構造設計、意匠設計、加工技術などの各種要素技術を統合して開発に取り組んだ自律歩行する四足歩行ロボットと、それぞれの要素技術について紹介します。	設計制御 G 吉木大司

(平成 22 年度新規導入機器の見学会)

産業技術センターに導入した平成 22 年度新規機器について、担当の研究員よりご紹介いたします。

見学希望の機器がございましたら、下記参加申込書にご記入ください。

番号	機器名	説明
1	フィールドエミッションオージェ電子顕微鏡	極表面(最表面から数 nm 以下の深さ)、極微小領域(φ 10nm 程度)の元素の種類、濃度、化学結合状態などの情報を得ることができ、深さ方向の元素濃度の変化も測定可能な装置です。半導体部品、めっき、薄膜材料、微小異物等の分析に利用できます。 (日本電子製 JAMP-9500F)
2	X 線 CT 装置	X 線の CT スキャンにより構造体(最大 φ 300×H300mm)の内部構造を非破壊で撮像し、構造観察や寸法・形状計測が可能な装置です。電子部品や軽金属系機械部品などの内部寸法測定や不良箇所の観察等に利用できます。 (島津製作所製 inspeXio SMX-225CT)
3	干渉膜厚計	光干渉により非破壊・非接触で単層から多層膜の膜厚(10nm~40 μ m)と屈折率が測定可能な装置です。基板上に形成された多層膜の各層の厚さ・屈折率測定に利用できます。(大塚電子製 FE-3000 YIT)
4	レーザー干渉平面度測定装置	レーザー干渉縞を画像解析することにより、外形 φ 200mm 以下の薄板の平面度測定が可能な装置です。ウエハの平面度測定や成膜プロセスの応力解析に利用できます。 (ニデック製 FT-900v2)
5	ガスクロマトグラフ質量分析装置	試験体を加熱したときに揮発する成分の分析が可能な装置です。プラスチックや食品等の添加剤や臭い成分等の分析に利用できます。 (パーキンエルマージャパン製 Clarus 600 GC/MS)
6	試料断面研磨装置	アルゴンイオンを試料断面に平行に照射して損傷のない断面を作製する装置です。電子部品の不良箇所の観察や材料界面評価のための電子顕微鏡試料の作製に利用できます。(日本電子製 IB-09020CP)
7	機構解析支援システム	三次元 CAD で設計したデータから、機構解析(ADAMS)、構造解析(I-Deas)、衝撃解析(DYNA)、及び樹脂流動解析(Moldflow)を行うためのシステムです。メカニズムの動き、物体の衝突、プラスチック成形などの解析に利用できます。(エムエスソフトウェア製 MD ADAMS、オートデスク製 Moldflow Adviser Advanced 等)

産業技術センター案内図



◆ お問合せ先 ◆



〒755-0195
 山口県宇部市あすとびあ四丁目1番1号
 企業支援部産学公連携室 (担当川村、松本)
 TEL: 0836-53-5052 (直通)
 FAX: 0836-53-5071
 E-mail: info@iti-yamaguchi.or.jp

参加申込書

E-mail: info@iti-yamaguchi.or.jp

FAX: 0836-53-5071

(地独) 山口県産業技術センター 産学公連携室 行き

会社、団体名 : _____

連絡先 (TEL、E-mail 等) : _____

参加者氏名	役職	見学を希望する機器 (上記一覧よりお選びください)

- ◆会場準備の参考としますので、お手数ですが、**2月28日(月)**までに本参加申込書をご送信ください。
- ◆当日参加も受け付けておりますので、お気軽にご来場ください。
- ◆参加料は、**無料**です。

【個人情報の取り扱い】 ご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法に基づいて管理し、本巡回技術報告会実施に関する連絡以外の目的で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。